

咸臨丸フォーエバー2009まちづくり講演会

# 咸臨丸の歴史の新たな真実

## 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会

2009年9月20日(日) 18時15分より/木古内商工会2階にて

咸臨丸子孫の会は、咸臨丸の歴史を後世に正しく伝えることを目的として咸臨丸の生涯にかかわった人々の子孫により1994年に発足しました。以来、咸臨丸建造のきっかけとなった黒船来航から座礁沈没するまで19年間の史実を現地取材などを通じて積極的に検証しています。また、かかわりが深かった地域の方々との交流を積極的に図っています。

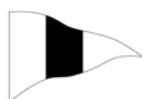
咸臨丸の歴史を語らせていただくに際しての私なりの分類は、以下の30項目となります。今回は、2005年9月講演以降の4年間に得た新たな真実をお話しますので、◎印のテーマを中心に多数の画像を使いながら実話などを交えて熱っぽく語らせていただきます。

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| ◎ 01.黒船来航〔1853〕       | ◎ 16.コルマ墓地                 |
| ◎ 02.世界のうごきと日本の対応     | ◎ 17.ハワイ寄港<復路航海>〔1860〕     |
| 03.長崎海軍伝習所〔1855〕      | 18.神奈川警備                   |
| ◎ 04.咸臨丸誕生〔1857〕      | 19.対馬派遣〔1861〕              |
| 05.軍艦操練所〔1857〕        | 20.小笠原派遣〔1862〕             |
| 06.日米修好通商条約〔1858〕     | 21.オランダ留学生〔1862〕           |
| 07.亜墨利加國別船仕立之儀申上候書    | 22.生麦事件〔1862〕              |
| 08.幕府遣米使節護衛随伴艦〔1859〕  | 23.神戸海軍操練所と禁門の変〔1864〕      |
| 09.太平洋横断乗組員名簿         | 24.船籍変更<軍艦⇒運搬船>〔1866〕      |
| 10.水主                 | 25.戊辰役勃発<鳥羽・伏見の戦い>〔1868〕   |
| 11.搭載物資               | 26.幕府脱走軍品川脱出               |
| ◎ 12.大圏航路<往路航海>〔1860〕 | 27.山本長五郎<清水次郎長>            |
| ◎ 13.サンフランシスコ入港       | 28.開拓使運搬船〔1869〕            |
| ◎ 14.メアアイランド米海軍工廠     | ◎ 29.最後の航海<座礁・破船・沈没>〔1871〕 |
| ◎ 15.ブルック大尉           | ◎ 30.咸臨丸に関する昨今のうごき         |

講演後は、すぐ後にやってきた明治維新により、英雄から一転して幕府へ貢献した過去を封印しなければならなかった太平洋横断乗組員の複雑な思いをみなさんと語り合ってみたいと思っています。

自己紹介：小杉 雅之進の曾孫、小杉 伸一（こすぎ しんいち/1952(昭和27)年生 57歳）、  
「咸臨丸子孫の会」幹事教授方(事務局長)、(株)荏原製作所勤務

【参考】小杉雅之進(こすぎ・まさのしん)  
天保14年10月1日〔1843/11/22(水)〕生、長崎海軍伝習所三期生、咸臨丸太平洋横断時 蒸気方見習、朝陽丸小笠原派遣時 蒸気方、戊辰戦争勃発時 開陽丸蒸気方一等、品川脱出時 開陽丸軍艦役、蝦夷共和国 江差奉行並、幽閉中に麦叢録を執筆、政令により 小杉 雅三 に改名、民部省に仕官し運輸行政担当、退官後 大阪商船勤務、明治42(1909)年8月21日没(66歳)、壽嶺院殿量遠日謙居士



咸臨丸子孫の会

The Society of the Kanrin-maru Crew Descendants

和暦	西暦	▼咸臨丸関連 / ・世のうごき
嘉永6年04月19日	1853年05月26日(木)	・ アメリカ東インド艦隊琉球到着
嘉永6年05月08日	1853年06月14日(火)	・ アメリカ東インド艦隊小笠原諸島到着
嘉永6年05月26日	1853年07月02日(土)	・ アメリカ東インド艦隊琉球出発
嘉永6年06月03日	1853年07月08日(金)	・ アメリカ東インド艦隊浦賀沖到着 / ペリー来航
嘉永6年06月09日	1853年07月14日(木)	・ マッシュ・ペリー、久里浜上陸、米フィルモア大統領の国書を幕府応接掛に手渡す
嘉永6年06月12日	1853年07月17日(日)	・ アメリカ合衆国印度洋艦隊退去
嘉永6年06月22日	1853年07月27日(水)	・ 将軍家慶死去
嘉永6年09月15日	1853年10月17日(月)	▼ 幕府、大船建造禁止令解除。この頃、オランダへ帆船軍艦発注
嘉永6年10月23日	1853年11月23日(水)	・ 徳川家定に将軍就任
嘉永6年11月07日	1853年12月07日(水)	・ 幕府中濱万次郎を登用
嘉永7年01月16日	1854年02月13日(月)	・ アメリカ東インド艦隊軍艦6隻で再び浦賀入港 / ペリー再来
嘉永7年03月03日	1854年03月31日(金)	・ 日米和親条約(神奈川条約)締結、下田・箱館開港
嘉永7年03月21日	1854年04月18日(火)	・ ペリー、艦隊下田入港
嘉永7年03月24日	1854年04月21日(金)	・ 幕府、下田奉行設置
嘉永7年05月25日	1854年06月20日(火)	・ 幕府下田条約に調印
嘉永7年06月02日	1854年06月26日(月)	・ ペリー、下田から退去
嘉永7年06月30日	1854年07月24日(月)	・ 幕府、箱館奉行設置
嘉永7年閏7月19日	1854年09月11日(月)	・ 幕府が日章旗を日本総船印に制定
安政2年09月03日	1855年10月13日(土)	・ 昌平丸にて長崎海軍伝習所一期生品川出発
安政2年10月20日	1855年11月29日(木)	・ 昌平丸、長崎着
安政2年10月22日	1855年12月01日(土)	・ 長崎海軍伝習所、出島のオランダ館にて開所式
安政2年10月24日	1855年12月03日(月)	・ 海軍伝習開始、長崎奉行所内
安政3年07月21日	1856年08月21日(木)	・ 米総領事ハリス下田に到着
安政4年03月01日	1857年03月26日(木)	▼ ヤパン号、ヘルフォートスライス出港 / 長崎海軍伝習所、一期生修了
安政4年03月04日	1857年03月29日(日)	・ 長崎海軍伝習所一期生、観光丸にて江戸へ出発
安政4年03月26日	1857年04月20日(月)	・ 観光丸、上関・御手洗・鳥羽経由で品川沖着
安政4年04月11日	1857年05月04日(月)	・ 築地講武所内に軍艦操練所を設置
安政4年05月08日	1857年05月30日(土)	・ 長崎海軍伝習所一期生、軍艦操練所教授方などへ任命
安政4年07月23日	1857年09月11日(金)	▼ ヤパン号、長崎港外停泊地に投錨
安政4年08月05日	1857年09月22日(火)	▼ ヤパン号長崎港外停泊地に投錨。その後、日本側引渡し
安政4年12月11日	1858年01月25日(月)	・ 幕府、ハリスと日米通商条約の交渉を開始
安政4年12月23日	1858年02月06日(土)	・ 日本側、ワシントンでの批准書交換を提案
安政5年01月21日	1858年03月06日(土)	・ ハリス一行、観光丸と君沢形に分乗し、江戸から下田へ向かう
安政5年02月16日	1858年03月30日(火)	
(5日間)		▼ 五島・対馬を巡航
安政5年02月20日	1858年04月03日(土)	
安政5年03月08日	1858年04月21日(水)	
(13日間)		▼ 平戸・下関・鹿児島・天草を巡航
安政5年03月20日	1858年05月03日(月)	
安政5年04月23日	1858年06月04日(金)	・ 井伊直弼、大老に任命
安政5年04月26日	1858年06月07日(月)	
(9日間)		▼ 鵬翔丸と共に天草巡航
安政5年05月05日	1858年06月15日(火)	

和暦	西暦	▼咸臨丸関連 / ・世のうごき
安政5年05月06日	1858年06月16日(水)	・ ハリス、君沢形で江戸から下田へ戻る
安政5年05月11日	1858年06月21日(月)	▼ 鵬翔丸見送り目的で山川へ、見送り後に鹿児島訪問
(10日間)		
安政5年05月20日	1858年06月30日(水)	
安政5年06月19日	1858年07月29日(木)	・ 観光丸、外国奉行井上信濃守らを江戸から神奈川へ / 幕府、ポーハタン艦上にて日米修好通商条約締結
安政5年07月04日	1858年08月12日(木)	・ 徳川家定死去
安政5年07月08日	1858年08月16日(月)	・ 幕府、外国奉行設置
安政5年07月19日	1858年08月27日(金)	・ 幕府、ハリスに使節派遣の迎船を要請
安政5年08月23日	1858年09月29日(水)	・ 外国奉行水野忠徳・永井尚志らを遣米使節に任命
安政5年08月24日	1858年09月30日(木)	・ ハリス、鵬翔丸にて江戸から下田へ戻る
安政5年08月30日	1858年10月06日(水)	・ 水野忠徳・永井尚志らが「亜墨利加国へ別船仕立之儀申上候書」にて別船派遣を上申
安政5年09月03日	1858年10月09日(土)	・ エド号(⇒朝陽丸)長崎到着 / 咸臨丸と同型姉妹艦
安政5年10月05日	1858年11月10日(水)	・ 肥前藩発注ナガサキ号(⇒電流丸)長崎到着 / 咸臨丸の同型姉妹艦
安政5年10月16日	1858年11月21日(日)	▼ 朝陽丸と共に平戸・福岡巡航(7日間)
(7日間)		
安政5年10月22日	1858年11月27日(土)	
安政5年10月25日	1858年11月30日(火)	・ 徳川家茂将軍就任
安政5年11月24日	1858年12月28日(火)	・ ハリス、批准書交換延期に同意。
安政6年01月06日	1859年02月08日(火)	・ 艦長候補伝修生勝麟太郎、朝陽丸にて江戸へ出発
安政6年02月15日	1859年03月19日(土)	・ 外国奉行とハリスとの会談にて、1860年2月22日を使節出発日と定め、それ以前に他国へ使節を派遣しないことを同意。
安政6年04月16日	1859年05月18日(水)	・ 長崎海軍伝習所、最終講義⇒閉鎖
安政6年06月02日	1859年07月01日(金)	・ 横浜・長崎・函館開港
安政6年07月27日	1858年08月25日(木)	・ 水野忠徳、外国奉行から転任
安政6年09月13日	1859年10月08日(土)	・ 新見正興ら、新たに遣米使節に任命される
安政6年11月18日	1858年12月11日(日)	・ 派遣候補船を朝陽丸から観光丸に変更
安政6年11月23日	1858年12月16日(金)	・ 遣米使節乗艦ポーハタン号の護衛随伴艦として観光丸派遣を決定
安政6年11月24日	1859年12月17日(土)	・ 木村喜毅、井伊大老の前で遣米使節として別船で米国派遣を命じられる。直ちに別船乗船者人選を行い、軍艦操練所の教授方などへ乗組を命じた。
安政6年11月25日	1859年12月18日(日)	・ 勝教授方頭取、乗艦メンバーへ船内規則等を示し、激励
安政6年11月28日	1859年12月21日(水)	・ 木村喜毅、軍艦奉行を命じられ、従五位下撰津守に叙せられる。
安政6年12月01日	1858年12月24日(土)	▼ 木村喜毅、遣米使節代表と共に西の丸登城将軍謁見。帰国便船待ちの米測量船フィルモアクーパー号乗組員を別船に乗せる策を幕府に上申し、承認される。 / ハリス、幕府との協議で使節の派遣費をアメリカ政府負担で合意
安政6年12月02日	1859年12月25日(日)	・ ドール横浜駐在米領事・ブルック大尉観光丸臨検⇒神奈川奉行所へスクリュウ船への変更要請
安政6年12月20日	1860年01月12日(木)	▼ ポーハタン号(2,415ト)横浜入港 咸臨丸(620ト)も長崎より入港
安政6年12月22日	1860年01月14日(土)	・ ハリス、タットナルポーハタン号提督・ピアソン同艦長・ドール領事・ヒュースケン(通訳)・ブルックとの協議で別船渡航を成功させる意思決定
安政6年12月23日	1860年01月15日(日)	・ 外国奉行・軍艦奉行・目付などが蟠竜丸で神奈川へ赴き、使節一行出帆日時などを協議 / ドール米領事・測量船長ブルックより別船のスクリュウ船への変更を申出
安政6年12月24日	1860年01月16日(月)	▼ ドール横浜駐在米領事の老中宛文書で「観光丸以外の船に変えよ」指令 朝陽丸が長崎へ向けて出帆中であり、長崎から戻った咸臨丸への変更が確定
安政6年12月25日	1860年01月17日(火)	▼ 木村・勝らが横浜へ赴き、ブルックを訪ねる
安政6年12月26日	1860年01月18日(水)	▼ 朝陽丸と同型艦の咸臨丸に変更。咸臨丸を品川へ回航し、破損箇所修理。観光丸搭載燃料(石炭)・食料などの積換え

講演資料 3/4

2009年9月20日 / 咸臨丸子孫の会

和暦	西暦	▼咸臨丸関連 / ・世のうごき
安政6年12月28日	1860年01月20日(金)	▼ 遣米別船通辞乗組承認
安政7年01月12日	1860年02月03日(金)	▼ 人員削減、公用方宮本小一郎他2名と水主10名
安政7年01月13日	1860年02月04日(土)	▼ 咸臨丸、品川沖13時頃出帆、横浜へ
安政7年01月15日	1860年02月06日(月)	▼ ブルック大尉ら乗船後、横浜出帆。17時頃浦賀着、生鮮食料・飲料水搭載。 / 佐々倉・山本・濱口・岡田に帰省許可〔浦賀出身〕
安政7年01月18日	1860年02月09日(木)	・ 幕府遣米使節77名が米軍艦ポーハタン号にて品川出帆、横浜着
安政7年01月19日	1860年02月10日(金)	▼ 【米国: 2/9木】 15時頃浦賀出帆
(38日間)		
安政7年02月26日	1860年03月18日(日)	▼ 【米国: 3/17土】 13時、サンフランシスコ入港・投錨。
安政7年02月27日	1860年03月19日(月)	▼ 【米国: 3/18日】 テツシエメカー桑港市長と区長12名が訪艦
安政7年02月28日	1860年03月20日(火)	▼ 【米国: 3/19月】 正午、咸臨丸より礼砲21発。米陸軍ゼネラル・ハーブン提督ほか士官15名が正装にて来艦
安政7年02月29日	1860年03月21日(水)	▼ 【米国: 3/20火】 13時、フランス領事、イギリス領事、サルチニア領事来艦。富蔵・源之助両人が海員病院入院
安政7年03月01日	1860年03月22日(木)	▼ 【米国: 3/21水】 長尾幸作および水夫一名が病気のため海軍病院へ
安政7年03月02日	1860年03月23日(金)	・ 【米国: 3/22木】 サンフランシスコ市長主催歓迎会
安政7年03月03日	1860年03月24日(土)	・ 桜田門外の變 ▼ 【米国: 3/23金】 源之助、午前3時死去。享年25歳。8時に蒸気にて出帆し正午頃にメアアイランド海軍造船所着
安政7年03月04日	1860年03月25日(日)	▼ 【米国: 3/24土】 船底の不具合箇所修繕から始まる。ドライドックに驚く乗組員。源之助、ローレルヒルの墓地に埋葬
安政7年03月09日	1860年03月30日(金)	・ 【米国: 3/29木】 ポーハタン号、サンフランシスコ入港、咸臨丸を探し、直ちにメアアイランドへ向かう。
安政7年03月10日	1860年03月31日(土)	▼ 【米国: 3/30金】 未明、平田富蔵(27)死去。ローレルヒルの源之助の墓の右手に埋葬 / サンフランシスコ市長とハーブン提督が木村を訪ね、正使一行歓迎会出席要請
安政7年03月11日	1860年04月01日(日)	▼ 【米国: 3/31土】 遣米使節一行がサンフランシスコ市長の招きで木村摂津守と共にサンフランシスコへ移動。その際、ポーハタン号が放った祝砲でカニンガム提督負傷。
安政7年03月12日	1860年04月02日(月)	▼ 【米国: 4/1日】 遣米使節一行と木村摂津守らがサンフランシスコ市長主催の日本修好大使歓迎会に参加。
安政7年03月13日	1860年04月03日(火)	▼ 【米国: 4/2月】 ブルック、カーン、汽船「シュブリック」でメアアイランドを去り、郷里へ。勝・佐々倉・松岡が見送り役で同乗
万延元年03月18日	1860年04月08日(日)	・ 【米国: 4/7土】 ポーハタン号、サンフランシスコ出帆パナマへ
万延元年閏3月09日	1860年04月29日(日)	▼ 【米国: 4/28土】 咸臨丸、修理完了【所要40日】
万延元年閏3月11日	1860年05月01日(火)	▼ 【米国: 4/30月】 乗組員一同乗船
万延元年閏3月12日	1860年05月02日(水)	▼ 【米国: 5/1火】 咸臨丸、サンフランシスコへ戻る
万延元年閏3月19日	1860年05月09日(水)	▼ 【米国: 5/8火】 朝8時10分に祝砲が轟く中をサンフランシスコ出帆。病院に10名残留。 / ポーハタン、パナマ着
万延元年閏3月25日	1860年05月15日(火)	・ 【米国: 5/14月】 遣米使節、ワシントン到着
万延元年04月01日	1860年05月21日(月)	▼ 【米国: 5/20日】 峯吉死去、ローレルヒルの墓地に埋葬貿易商Charles Wolcott Brooksが峯吉の墓を建てる。
万延元年04月04日	1860年05月24日(木)	▼ 【米国: 5/23水】 ホノルル入港、投錨。
万延元年04月05日	1860年05月25日(金)	▼ 【米国: 5/24木】 咸臨丸、薪水食料積込完了、船内大掃除
万延元年04月06日	1860年05月26日(土)	▼ 【米国: 5/25金】 カメハメハ王謁見、勝海舟のブルック大尉宛感謝状。
万延元年04月07日	1860年05月27日(日)	▼ 【米国: 5/26土】 10時ホノルル出帆、南西の進路を取る。
万延元年05月05日	1860年06月23日(土)	▼ 【米国: 6/22金】 朝5時、船の右方遙かに山見る。房州洲崎なれば進路を右に転じ、順風にて浦賀港へ達し投錨。
万延元年05月06日	1860年06月24日(日)	▼ 【米国: 6/23土】 浦賀港出港、4時神奈川港着。横浜在留米国領事へ米水夫5名引渡目的で吉岡勇平が上陸。6時40分抜錨、10時20分品川沖帰着。〔遣米使節、ニューヨークよりナイアガラ号(喜望峰回り)で帰途に着く〕
万延元年09月27日	1860年11月09日(金)	・ 遣米使節、品川沖に帰着
万延元年12月05日	1861年01月15日(火)	・ 米通訳ヒュースケン襲撃暗殺
万延2年02月03日	1861年03月13日(水)	・ 露軍艦、対馬に来航・上陸
文久元年05月15日	1861年06月22日(土)	▼ 江戸引上げで対馬出発。
文久元年08月25日	1861年09月29日(日)	・ 露軍艦、対馬を去る
文久元年11月05日	1861年12月06日(金)	・ 米公使ハリス、将軍家茂と会見

和暦	西暦	▼咸臨丸関連／・世のうごき
文久元年12月03日	1862年01月02日(木)	▼幕命による小笠原派遣で品川出帆
文久元年12月19日	1862年01月18日(土)	▼小笠原諸島父島着
文久2年02月10日	1862年03月10日(月)	▼小笠原諸島母島探検
文久2年03月09日	1862年04月07日(月)	▼小笠原諸島父島出帆
文久2年03月16日	1862年04月14日(月)	▼機関故障で下田入港
文久2年06月18日	1862年07月14日(月)	▼オランダ留学生を乗せて品川出帆、浦賀入港
文久2年06月24日	1862年07月20日(日)	▼浦賀出港、機関故障で下田入港
文久2年08月02日	1862年08月26日(火)	▼下田出港、志州国的矢浦入港
文久2年08月08日	1862年09月01日(月)	▼的矢浦出港
文久2年08月13日	1862年09月06日(土)	▼塩飽本島着
文久2年08月14日	1862年09月07日(日)	▼塩飽本島出帆
文久2年08月15日	1862年09月08日(月)	▼長門国上関着
文久2年08月21日	1862年09月14日(日)	・生麦事件
文久2年08月23日	1862年09月16日(火)	▼長崎着
文久2年閏8月29日	1862年10月22日(水)	▼長崎出港
文久2年09月17日	1862年11月08日(土)	▼品川着
元治元年05月21日	1864年06月24日(金)	・神戸海軍操練所発足
慶応3年12月09日	1868年01月03日(金)	・王政復古の号令
慶応4年01月03日	1868年01月27日(月)	・鳥羽・伏見の戦い
慶応4年08月19日	1868年10月04日(日)	▼旧幕府脱走軍、江戸脱走。回天丸が咸臨丸を曳航
慶応4年08月20日	1868年10月05日(月)	▼座礁、離礁後に浦賀沖で仮泊
慶応4年08月21日	1868年10月06日(火)	▼回天丸の曳航で浦賀沖を出発
慶応4年08月22日	1868年10月07日(水)	▼回天丸との曳航綱が切れて漂流状態にメインマストを切り倒して安定確保。下田入港
慶応4年08月23日	1868年10月08日(木)	▼清水を目指して蟠竜丸の曳航で下田出港
慶応4年08月29日	1868年10月14日(水)	▼潮に流され、下田に戻る
慶応4年08月30日	1868年10月15日(木)	▼蟠竜丸曳航で下田出港
慶応4年09月02日	1868年10月17日(土)	▼蟠竜丸曳航で清水入港
明治元年09月08日	1868年10月23日(金)	・明治元年
明治元年09月18日	1868年11月02日(月)	▼新政府軍の脱走艦隊追捕艦隊の富士山丸が白旗を掲げた咸臨丸を砲撃。咸臨丸は新政府軍に曳航されて清水港を去る。
明治元年10月13日	1868年11月26日(木)	・江戸が東京と改められ、江戸城が皇居と定められた。明治天皇、皇居入り
明治2年05月18日	1869年06月27日(日)	・旧幕府脱走軍降伏、五稜郭開城
明治2年10月16日	1869年11月19日(金)	▼浦賀番所での修理が終わり、開拓使へ移管される
明治2年10月19日	1869年11月22日(月)	▼開拓使運搬船として箱館へ向け品川出港
明治3年06月22日	1870年07月20日(水)	▼仙台藩片倉邦憲家臣団が白石を出立。寒風沢から咸臨丸か長鯨丸か庚午丸のいずれかが使用されたのは明らか。
明治4年08月23日	1871年10月07日(土)	▼寒風沢へ向け品川出帆
明治4年09月12日	1871年10月25日(水)	▼片倉小十郎家臣団401名を乗せ、小樽へ向けて寒風沢出帆
明治4年09月17日	1871年10月30日(月)	▼函館寄港死者を埋葬
明治4年09月20日	1871年11月02日(木)	▼函館出帆、泉沢沖にて座礁
明治4年09月25日	1871年11月07日(火)	▼破船・沈没